

科学研究費助成事業 研究成果公開促進費 国際情報発信強化（平成25年度採択分）  
 「ZOOLOGICAL SCIENCEによる多様なOpen Access 発信」  
 （課題番号：252009）

学術団体名：公益社団法人 日本動物学会  
 学術刊行物の名称：ZOOLOGICAL SCIENCE  
 事業期間：平成25年度～平成29年度

## 1 取組の概要

### ・取組内容の特徴と目的、意義及び方法

Zoological Science誌（ZS）に掲載された4,068論文で研究対象として扱われた動物種をデータベース化し（表1）、さらに動物分類群や動物種名（学名や一般名）と各論文のpdfファイルをタグづけすることで、目的とする動物を扱った研究論文にアクセスできるウェブサイトを構築した（図1、<http://zdw.zoology.or.jp/>）。そして、この世界初のユニークなウェブサイトをZDWと命名し（ZooDiversity Webの略称）、動物学の幅広い普及を行った。

具体的には、多様な動物を用いた様々な分野の研究成果を動物種別に検索できるようにすることで、日本発の動物学の成果を世界中の研究者により親しみやすい形で提供することを目的とした。また、過去の論文を学会のサーバーで一元管理し、本ウェブサイトを一般の方々にも馴染めるように作り込むことで、多くの論文を一般の方々にもオープンアクセスできるようにし、高校生や一般の方にも教科書では学べない動物学の世界を知ってもらうことも目的の一つとした。

### ・応募時に設定した取組の目標・評価指標

- ア. ZSで出版した過去論文を全て学会Webサーバーに一元化
- イ. ZS出版全論文を「動物種」を元にデータベース化
- ウ. 出版全論文の解析と検証
- エ. 動物種ごとに論文を検索ができるウェブサイト（ZDW）の構築
- オ. 平成27年より運用を開始
- カ. 新規OA誌Zoological Letters（ZL）との連動（BMCのプラットフォームを利用して宣伝）
- キ. BioOne. 2購読館のIPアドレス聞き取り調査
- ク. ZDW検索機能を利用したVirtual Issuesの刊行

評価指標は、以下の4点とする。1. 投稿数の増加 2. アクセス数の増加 3. Thomson Reutersが新たに装備した Item Level Usage Metricsでの評価推移 4. ZS過去論文へのアクセス動向解析

## 2 目標の達成状況

### ・現在までの目標の達成状況

総論文数4,068本を解析し、扱った対象動物学名数28,655、種数13,421をデータベース化し、検証作業を終了。論文とのタグづけをし、ZDWサイトを構築し、予定より早く平成26年秋より運用を開始。

### ・今後の計画

検索結果から検討される新たな“Virtual Issues”のOA刊行、論文発信とそのアクセス解析、Early publishing の強化、ZS収録論文に使われた証拠標本の所在調査、BioOne. 2購読館・国内大学図書館でZSを購読している図書館のIPアドレス登録、新規にBMCから刊行したOA誌<Zoological Letters>のプラットフォームとZS/ZDWの連動、多様なOA刊行の効果の評価

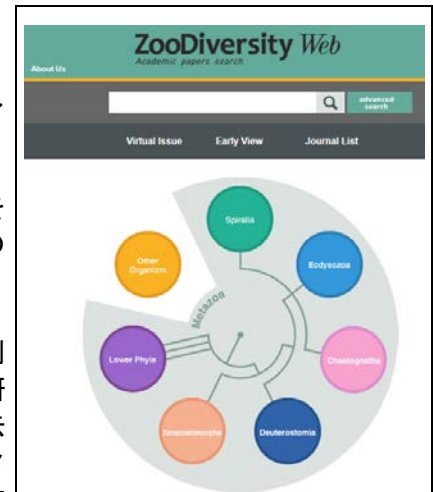


図1. Web表紙

（各動物群のサークルをクリックすることで、目的とする動物種を扱ったZS論文に辿り着けるようにしてある）

調査項目	該当件数
総論文数	4,068 本
学名総数	28,655 件
研究材料	12,875 件
比較その他	15,780 件
総種数	13,421 種
研究材料	7,022 種
比較その他	8,154 種
重複	1,755 種

表1. 学名調査の結果